

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立豊浜中学校
(豊浜中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	-3.3	+10.7
令和6年度	+8.9	+19.5
令和5年度	+0.2	+10.0
令和4年度	+5.0	+14.6

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>本校 51 % 全国 54.3% 県 55 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして読み取ることに課題がある。 【設問3(四) (正答率0.0%)】 ◇読み取った内容を踏まえ、条件を満たして書く【設問1(四)】ことや、相手に伝わるように具体的に詳しく書く【設問2(四)】ために必要な知識・技能が十分定着していない。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎文章の構成や展開を読み取り、条件に従って自分の考えをまとめる課題に取り組む学習の場を設定する。 ◇AI型デジタルドリル「キュビナ」を活用し、該当学年より前の学年にもどってスパイラルに復習に取り組みませ、基礎的な知識・技能の定着を図る。また、条件作文に取り組む機会を設定し、根拠を明確にして書く力を身に着けさせる。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力調査問題(設問3(四)) (第3学年 12月) 目標 第3学年 60% →結果 第3学年 49.8% ◇全国学力調査問題(設問3(四)) (第3学年 12月) 目標 第3学年 60% →結果 第3学年 49.8%</p>
<p>数学</p> <p>数と式</p> <p>本校 59 % 全国 48.3% 県 47 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。(設問8(2))【関数】(正答率33.3%) ◇数量を文字を用いた式で表したり【設問2(正答率33.3%)】、グラフから必要な情報を読み取ったりする【設問8(1)(正答率50%)】ために必要な既習の知識・技能が十分定着していない。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎関数についての既習の基礎的な概念や性質を復習するとともに、日常生活や社会の事象などの具体的な場面で関数を活用し、表、式、グラフを用いて表現し明らかになった事柄を他者に説明する学習を設定する。 ◇AI型デジタルドリル「キュビナ」を活用し、該当学年より前の学年にもどってスパイラルに復習に取り組みませ、基礎的な知識・技能の定着を図る。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力調査問題(設問8(2)) (第3学年 12月) 目標 第3学年 67% →結果 第3学年 50% ◇全国学力調査問題 (第3学年 12月) 目標 第3学年 70% →結果 第3学年 74.4%</p>

【来年度に向けて】

AI型デジタルドリル「キュビナ」を活用し、該当学年より前の学年にもどってスパイラルに復習する学習により、基礎的な知識の定着を図れてきていると考えられる。しかし、日常生活や社会の事象などの具体的な場面で関数を活用し、表、式、グラフを用いて表現し明らかになった事柄を他者に説明する場を授業の中に設定することは容易ではなく、目標の数値にまでは達していない。次年度は、週末課題に全国学テや公立・私立高校の入試の過去問等を活用し、思考・判断・表現力を高める取組を行うとともに、「キュビナ」のワークブック配信、キュビナテストを積極的に活用して基礎的な知識の定着を図る取組を充実させる。